

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 健康管理推進費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医事係 電話番号：058-272-1111 (内3240)

E-mail : c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,400千円 (前年度予算額： 2,400千円)

＜財源内訳＞

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 財 源
前年度	2,400	0	0	0	0	0	0	0	2,400
要求額	2,400	0	0	0	0	0	0	0	2,400
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県民の意識調査(令和6年度、第47回県政世論調査結果)では、今後の暮らしの中で重視していきたいこととして「健康・体力づくり」を挙げる人が63.7%と最も多い。

県民に対し、医学や、運動等の健康づくりに関する知識の普及啓発を行い、健康意識の向上を図ることにより、県民の健康増進に寄与することを目的に、県医師会が行う講演会、健康セミナー、健康スポーツ医学研修会、健康づくりフォーラム、啓発等の実施に必要な費用の助成を行う。

(2) 事業内容

【補助対象者】

一般社団法人 岐阜県医師会

【補助対象事業】

講演会、健康セミナー、健康スポーツ医学研修会、健康づくりフォーラム等健康管理の推進に係る費用に対する補助

(3) 県負担・補助率の考え方

定率補助（1／2）、ただし2,400千円を上限
岐阜県公衆衛生向上対策事業費補助金交付要綱

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,400	講演会等の実施に対する助成
合計	2,400	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第8期岐阜県保健医療計画

- 第3部 第1章 医療提供体制整備の基本的な施策の方向
 - ・健康づくりを通じた予防等の知識の普及や医療に対する県民意識の向上

(2) 事業主体及びその妥当性

健康に関する事業は、医療関係団体と連携して進めることが効果的である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	健康管理推進事業費補助金
補助事業者（団体）	一般社団法人 岐阜県医師会 (理由) 健康管理の推進等の啓発活動に係る事業実施に最も適した団体である。
補助事業の概要	(目的) 県民の健康増進に寄与する。 (内容) 健康管理の推進に係る事業実施に対する補助
補助率・補助単価等	定率 (内容) 補助率1/2、予算額（2,400千円）が上限 (理由) 事業の公益性に鑑み、県の積極的支援が必要
補助効果	県民の健康増進・疾病予防に寄与する。
終期の設定	令和9年度 (理由) 次期保健医療計画中間見直し

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

専門的な知識を有する医師会が主催することで、県民により正しい知識の普及や意識の向上のほか、医療従事者への研修等を通じた専門人材の育成を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①講演会、健康セミナー等の開催日数		6	6	6	6	100%
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	2,165	2,327	2,312

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・疾病予防に対する理解と意識の向上により、健康管理の必要性を認識してもらい、健康管理意識の向上を図った。
	指標① 目標：6 実績：6 達成率：100%
令和5年度	・疾病予防に対する理解と意識の向上により、健康管理の必要性を認識してもらい、健康管理意識の向上を図った。
	指標① 目標：6 実績：6 達成率：100%
令和6年度	・疾病予防に対する理解と意識の向上により、健康管理の必要性を認識してもらい、健康管理意識の向上を図った。
	指標① 目標：6 実績：6 達成率：100%

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	健康であることに対する県民の意識は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	健康であるために必要な健康管理について、医師等の専門家が講演等を行うことにより、正しい知識の普及に寄与する。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	健康に関する事業については、関連団体と連携して進めることが効果的である。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 健康に関する必要な知識とは何かを的確にとらえて事業を実施する必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 専門的な知識を有する医師会が主催することで、県民により正しい知識の普及や意識の向上のほか、医療従事者への研修等を通じた専門人材の育成を目的としている公益性が高い事業であることから、引き続き実施する必要がある。
--